



スタッフ便り

雑誌名	SENAC : 東北大学大型計算機センター広報
巻	47
号	3
ページ	66-66
発行年	2014-07
URL	http://hdl.handle.net/10097/00124842

スタッフ便り

今年も早くも半分が終わり梅雨明けの待ち遠しい季節になりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。この間、サイバーサイエンスセンターでは、年明けからセンター本館前での新スパコン棟建設工事が本格的に始まり、4月には新並列コンピュータ・ファイルシステム・3次元可視化システムの導入・サービス開始、5月には新スパコンの決定、7月にはHPCに関する産学連携共同研究拠点として高性能計算科学技術開発(NEC)共同研究部門の新設・活動開始と、センターの今後の活動を支える重要な出来事が続いております。

3次元可視化システムは、壁いっぱいに張り巡らされたディスプレイにハイビジョンの立体画像を映し出すことができ、ネットワーク接続された遠隔の同様なシステム間でのコンテンツ共有することもできます。早速、東北大・阪大間で本システムを活用した遠隔セミナーを開催し、好評を得ています。

センターにとって今年の後半の大きなイベントは、もちろん、新スパコン棟の完成と新スパコンの導入・運用開始です。新スパコン棟の建設では、駐車場の大部分が利用できなくなり、センターにお越しになる方には大変な不便をおかけしておりますが、そこに設置される新スパコン NEC SX-ACE は現システム SX-9 の 25 倍以上の性能を有するもので、現在の長時間のジョブ実行時間待ちを解消し、より大規模・高速なシミュレーションを必要とするセンター利用の皆さんの計算需要に応えてくれるものと大いに期待しているところです。暑い夏がもうすぐそこまで来ていますが、センター職員一同もまたセンターの今後を占うこの1年を熱い志で奮闘する毎日です。(H.K)

センターの職員として採用されて3年が経過しました。業務に慣れてきたということもあり、心にゆとりが少しずつ持てるようになってきました。個人的なことですが、前々から駅伝やマラソンをTVで見ている走ってみたいなと感化され、初ハーフマラソン(21.0975km)として5月に行われた仙台国際ハーフマラソンへ参加しました。ただ、アスリートのような練習どころか、事前に20kmを通して走れず不安でしたが、目標としていた完走をすることができました。また、仙台の街並みを気持ちよく見ることが出来たのが本当に良かったです。今度はもう少しトレーニングを積み、別の大会にも参加してみたいなと無謀なりに思ってしまった。練習でのタイム走は現状を維持するのに精いっぱいですが、今秋に更新予定のスーパーコンピュータは現有と比較し25倍以上の性能なのでうらやましい限りです。このスーパーコンピュータをより多くの利用者に利用して頂けるよう邁進していきたいと思ひます。(T.M)

サイバーサイエンスセンター・情報部情報基盤課スタッフ 転入・転出・退職者のお知らせ

[転入]

2014. 7. 1 石谷 由岐子 (総務係・主任) 仙台高専企画室研究支援係(名取)主任より
2014. 7. 1 枝松 敬志 (会計係・一般職員) 病院経理課契約第二係より

[転出]

2014. 6. 30 畠山 由紀子 (総務係・主任) 仙台高専企画室研究支援係(名取)主任へ
2014. 6. 30 金山 志都 (会計係・主任) 加齢医学研究所・専門職員へ



写真上:整備中の青葉山新キャンパス

写真下:センター新棟工事

SENAC 編集部会

小林広明 曾根秀昭 水木敬明 後藤英昭
江川隆輔 佐藤恵美子 高杉佳奈 大泉健治
小野 敏 斉藤くみ子

平成 26 年 7 月発行

編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
郵便番号 980-8578

印刷 東北大学生協同組合
プリントコープ